

# きのくにコミュニティスクール推進に係る指標

平成31年3月作成 きのくにコミュニティスクール推進協議会

項目		学校(学校運営協議会)	地域(共育コミュニティ等)	重点的に取り組みたいこと
学校運営協議会の機能	課題・目標・ビジョンの共有	(学校運営協議会や共育ミニ集会等における協議や熟議を通じて、)現状や課題を把握し整理している。育てたい子供像や目指す学校像等の目標やビジョンを共有している。具体的な手立てについて考えている。		
	学校運営の基本方針の承認	委員が校長の説明をもとに当事者意識を持って意見を述べている。		
	学校運営についての意見	保護者や地域住民等の意見を反映し、運営への必要な支援等に関して協議している。		
	教職員の任用に関する意見	学校運営協議会規則に定める事項について、学校運営の基本方針を踏まえた意見を述べる機会を設けている。		
	委員の構成	学校や地域の実情に応じて、様々な考え方を学校運営に反映させる委員が入っている。	学校運営協議会の委員に、共育コミュニティ等の関係者が入っている。	
連携体制	学校と地域の連携体制	学校運営協議会の協議結果をもとに学校と地域が連携して取り組むため地域連携担当教員が位置づけられ、機能している。	共育コミュニティ等の関係者が、地域と学校との連絡調整や活動の企画・調整を行っている。	
	校種間の連携	地域内の他の学校運営協議会と連携している。	地域内の学校と連携できる体制となっている。	
活動	地域学校協働活動	目標やビジョンの達成に向けて考えた具体的な手立てについて、地域と学校が一体となって、役割分担しながら協働して取り組んでいる。		
	学校と地域の双方向の関係づくり	伝統行事の継承等、地域課題の解決に向けて、学校・子供たちが貢献している。	学校支援活動に、幅広い地域住民等が参加・参画している。	
	地域の核としての学校	学校が地域の中心的な存在となり、地域の課題解決に取り組む体制が整っている。	学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよりどころとなっている。	
	地域づくりの担い手の育成	活動を通じて、子供たちのふるさとへの愛着や誇りを持つ心を育てている。	活動を通じて、そこに関わる大人や地域の絆が深まっている。	
情報提供	学校運営協議会の協議結果の情報提供	協議結果について、学校便りやインターネットを通じた発信、共育ミニ集会等における報告など、様々な方法で地域住民等に情報提供している。		
	(独自の項目)			
	(独自の項目)			

※共育ミニ集会・・・ 学校等を会場に、地域や保護者が気軽に参加でき、「地域の子供をどう育てるか」を共に考え、話し合う場